



JASDAQ

平成 27 年 2 月 4 日

各 位

長野県伊那市西箕輪 2148 番地 188
株式会社イナリサーチ
代表取締役社長 中川賢司
(コード番号: 2176)
問い合わせ先: 執行役員 総務部長 野竹文彦
電話番号 0265(73)6647

マーモセットによるバイオ医薬品開発試験の進捗について

当社は平成 25 年 4 月に公益財団法人実験動物中央研究所（野村龍太理事長）と共同研究契約を締結し、コモンマーモセット（注 1：以下「マーモセット」）試験の専用棟の設置や医薬品 GLP 適合施設（注 2）としての実施体制を整え、平成 26 年 1 月には毒性試験（GLP 試験）を受注・実施致しました。当社はその後も医薬品開発における非臨床試験領域へのマーモセットの適応拡大に取り組み、平成 26 年 12 月にはテレメトリー試験（注 3）を受注するとともに、このほどマーモセット試験導入の大きな目的であったバイオ医薬品の中の核酸医薬品（注 4）の開発関連試験を受注するにいたりましたので、お知らせいたします。

核酸医薬品は次世代のバイオ医薬品として市場の拡大が見込まれております。

1. マーモセット試験の今後の展開

- (1) バイオ医薬品の開発ではヒトに類似した反応性を有している霊長類のニーズが強く、カニクイザルに比べて体重が 10 分の 1 以下のマーモセットは高価な新薬候補物質の使用量が少なく済むため、今後需要が高まる
- (2) 英国内務省等の欧米行政当局は動物倫理の観点からカニクイザルよりもマーモセットを使用することを推奨しており、欧米での需要増を目指す
- (3) マーモセットの繁殖効率が高い（年 2 回・約 4 頭出産）ことから、生殖発生毒性試験の開発を検討する
- (4) 中枢神経系評価や心血管系評価におけるマーモセット試験の一連の検討成果を関連学会で積極的に発表していく

2. 今後の業績見通し

本件が当社グループの当期業績に与える影響は軽微であり、来期以降の業績への影響については現在算定中であります。

(注 1) コモンマーモセット

広鼻猿類（新世界ザル）オマキザル科マーモセット亜科に属する体重約 300g の小型霊長類

(注 2) 医薬品 GLP 適合施設

医薬品の安全性に関する非臨床試験のデータの品質と信頼性を確保するために、薬事法に基づき厚生労働省令で定めた GLP（Good Laboratory Practice）基準に適合している試験施設

(注3) テレメトリー試験

安全性薬理試験における心血管系の試験。無麻酔・無拘束のイヌあるいはカニクイザルから心電図、心拍数、血圧を記録できるシステムを用いて行う。

(注4) 核酸医薬品

遺伝子情報を伝達する物質のリボ核酸（RNA）で構成した医薬品。遺伝子に直接働きかけるタイプや、複雑な立体形状を生かして病気の原因物質に結合して働きを抑えるタイプなどがある。同じバイオ医薬品でも免疫反応を応用した抗体医薬品に比べて、物質への結合力が強いいため高い効果が期待できるほか、安価に合成できる。

以 上